

幌別地区からのマイカー規制・シャトルバス運行に関する過去3年間の進捗

1. 過去3年間の実施内容

(1) 実施の変遷

- 試行事業を開始した2021年から、カーフリープロジェクト（2020年）の実施を踏襲し、概ね10月第1週目の金曜～日曜日の3日間にオータムバスデイズを実施している。

表1

|       | 5月               | 7月                 | 8月                           | オータムバスデイズ                        |
|-------|------------------|--------------------|------------------------------|----------------------------------|
|       | バス増便<br>(規制なし)   | バス増便<br>(規制なし)     | シャトルバス運行<br>(規制区間:五湖～カムイワッカ) | シャトルバス運行<br>(規制区間:自然センター～カムイワッカ) |
| 2020年 |                  |                    | 7日間<br>(8月9日～15日)            | 3日間<br>(10月2日～4日)                |
| 2021年 | 4日間<br>(5月1日～4日) |                    | 10日間<br>(8月7日～16日)           | 3日間<br>(10月1日～3日)                |
| 2022年 | 5日間<br>(5月1日～5日) | 3日間<br>(7月16日～18日) | 10日間<br>(8月6日～15日)           | 3日間<br>(9月30日～10月2日)             |

(2) 魅力向上の取り組み

- A系統（自然センター～知床五湖間）でのネイチャーガイドバス、岩尾別孵化場ツアーは2020年から継続して実施した。
- 2022年は岩尾別沿線における新たな取り組みとして、C系統（自然センター～岩尾別温泉間）でのレンジャートークを実施した。
- 現地の魅力向上策としては、2021年よりカムイワッカ湯の滝1の滝以奥再利用試行事業を実施している。
- ショルダー期間の誘客も目的とし、イベント（知床サステイナブルウィーク）実施期間に合わせてオータムバスデイズを実施した。
- イベントは知床自然センターや道の駅でのフード・マーケット等の出店、知床自然センターでのガイドツアーデスクなど、ウトロやホロベツの拠点化を意識した取り組みを実施した。

表2

|       | ネイチャーガイドバス<br>(A系統) | 岩尾別孵化場ツアー | カムイワッカ湯の滝1の滝以奥<br>の再利用試行事業 | レンジャートーク<br>(C系統) | イベントの実施                               |
|-------|---------------------|-----------|----------------------------|-------------------|---------------------------------------|
| 2020年 | ○(往路便のみ)            | ○         |                            |                   | ○                                     |
| 2021年 | ○(往路・復路)            | ○         | ○                          |                   | △<br>※9月30日まで新型コロナ対策に伴う<br>移動制限あり一部中止 |
| 2022年 | ○(往路・復路)            | ○         | ○                          | ○                 | ○                                     |

表3

|       | イベント               | フード<br>マーケット | 道の駅会場 | ガイドツアー<br>デスク |
|-------|--------------------|--------------|-------|---------------|
| 2020年 | 知床アウトドアフィルムデイズ2020 | ○            | ○     | ○             |
| 2021年 | 知床サステナブルウィーク2021   | ×            | ×     | ○             |
| 2022年 | 知床サステナブルウィーク2022   | ○            | ×     | ○             |

## (4) 10月バスデイズの運行体制

- 主系統であるA/B系統については輸送力の最大化を図り、2020年から2022年まで統一した方法で実施した。
- C系統については、2020年度の結果を受け、利用者の利便性を図り2021年より増便した。

表4

| 系統<br>(運行区間) | A系統<br>(道の駅～知床五湖) | B系統<br>(知床五湖～<br>カムイワッカ) | C系統<br>(自然センター～<br>岩尾別温泉) | D系統<br>(ウトロ循環) |
|--------------|-------------------|--------------------------|---------------------------|----------------|
| 定員           | 44名               | 44名                      | 22名                       | 33名            |
| 機材           | 大型バス4台            | 大型バス3台                   | マイクロバス1台                  | 中型バス1台         |
| 運行担当         | 斜里バス              | 斜里バス                     | 美咲観光                      | 美咲観光           |
| 便数           | 34便               | 15便                      | 9便⇒11便                    | 15便            |
| 2020年        | ○<br>(15分間隔)      | ○<br>(30分間隔)             | ○<br>(9往復)                | ○              |
| 2021年        | ○<br>(2020年に同じ)   | ○<br>(2020年に同じ)          | ○<br>(11往復)               | ×              |
| 2022年        | ○<br>(同上)         | ○<br>(同上)                | ○<br>(2021年に同じ)           | ×              |

## 2. 知床オータムバスデイズの3年間の実績の推移

### （1）乗車実績の推移

- ・ 3日間の合計乗車人数は2020年が最も多く、2022年が最も少なくなった。（図1）年によって天候や社会情勢の変化による影響が大きく変化の要因についての分析は難しい。（2020年旅行支援、2021年直前まで感染予防策としての移動制限と悪天候、2022年小型観光船の事故、等）
- ・ 各日の乗車人数の内訳は図2に示す。
- ・ A系統（知床五湖往復）のバス利用者に対するB系統（カムイワッカ往復）利用者の割合は、カムイワッカ湯の滝1の滝以奥の再利用試行事業を開始した2021年に5%上がったが、2022年は2020年と同水準となった。（表5）

図1 各年の各系統の3日間の合計乗車人数

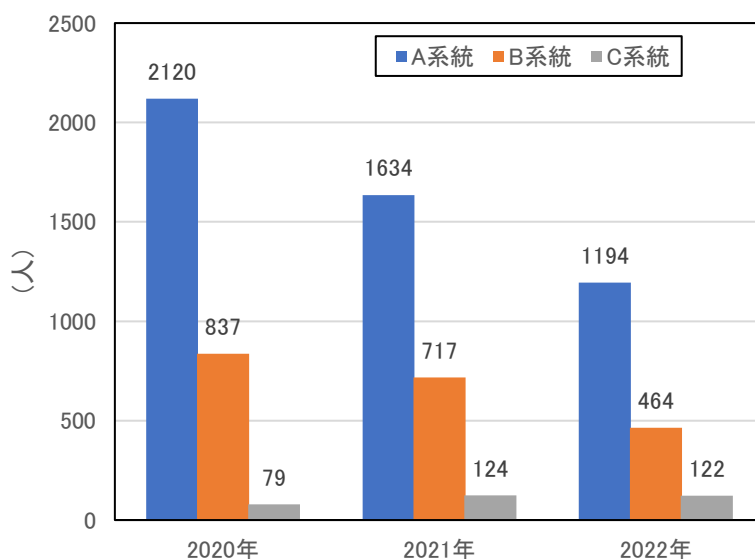


表5 A系統利用者とB系統の利用者の割合の年推移

|                        | 2020年 | 2021年 | 2022年 |
|------------------------|-------|-------|-------|
| A系統                    | 2120  | 1634  | 1194  |
| B系統                    | 837   | 717   | 464   |
| A系統利用者のうち<br>B系統利用者の割合 | 39%   | 44%   | 39%   |

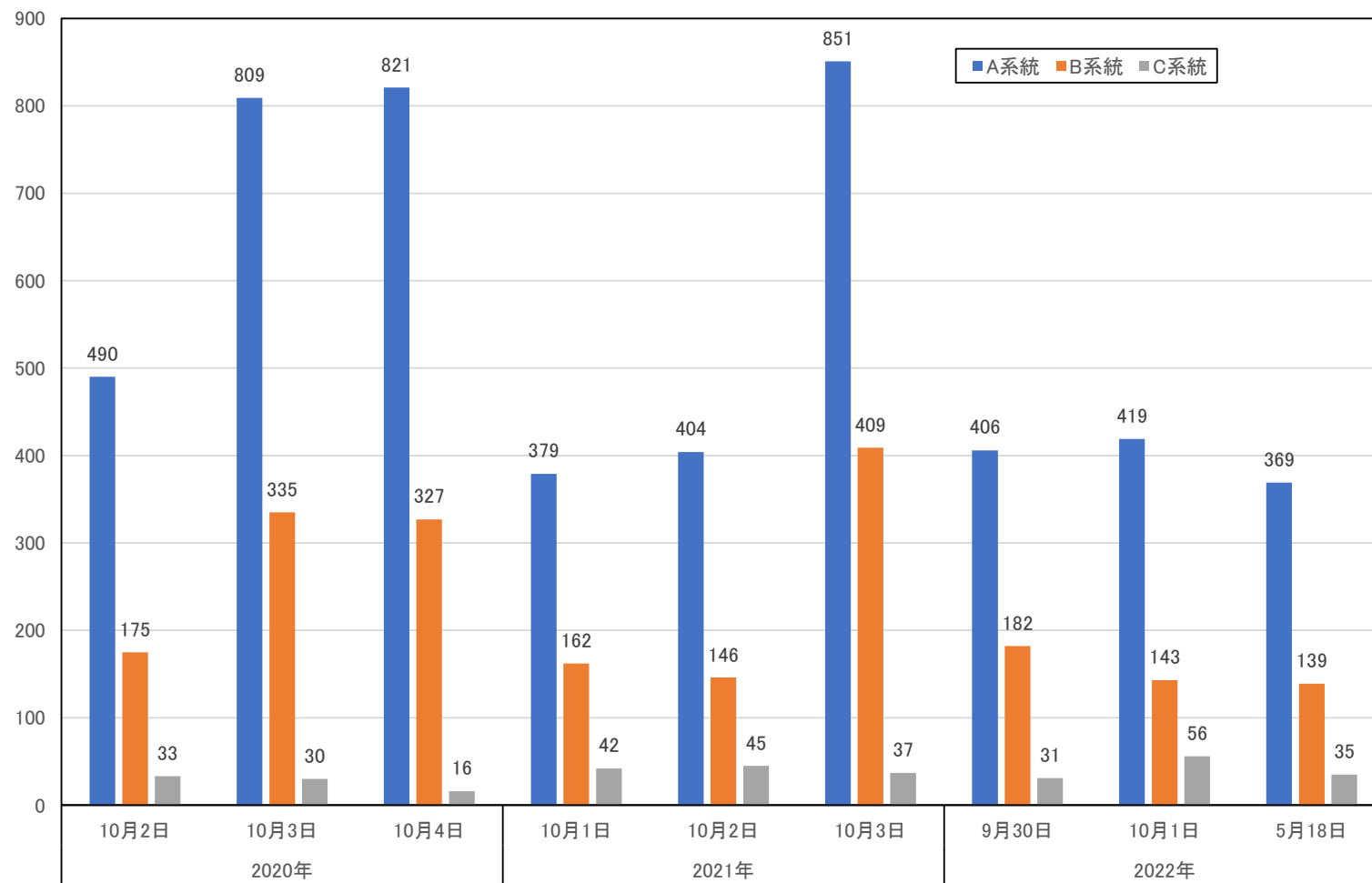


図2 系統別・日別乗車実績

（3）駐車台数

- ・過去3年間、自然センター駐車場が満車状態になることはあったが、予備駐車場まで満車になることはなく、マイカー規制に伴う渋滞等は発生していない。
- ・道の駅臨時駐車場は、道の駅駐車場の利用に関しては実績を把握できていないため参考値。

図3 日別駐車台数(知床自然センター)

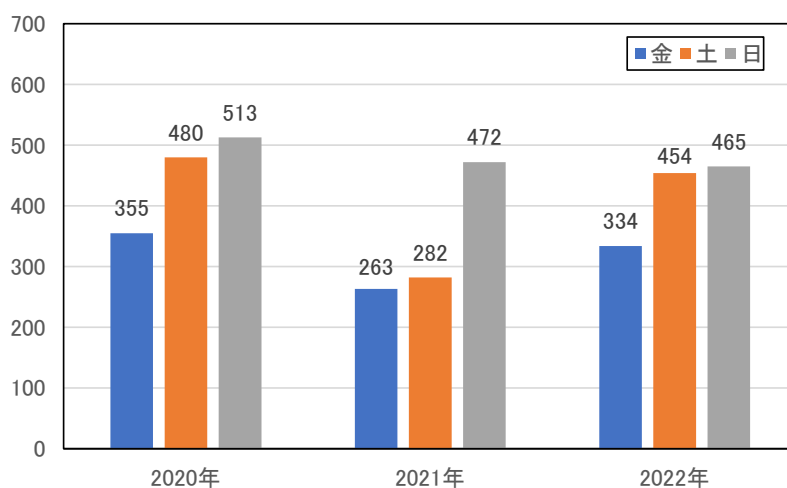
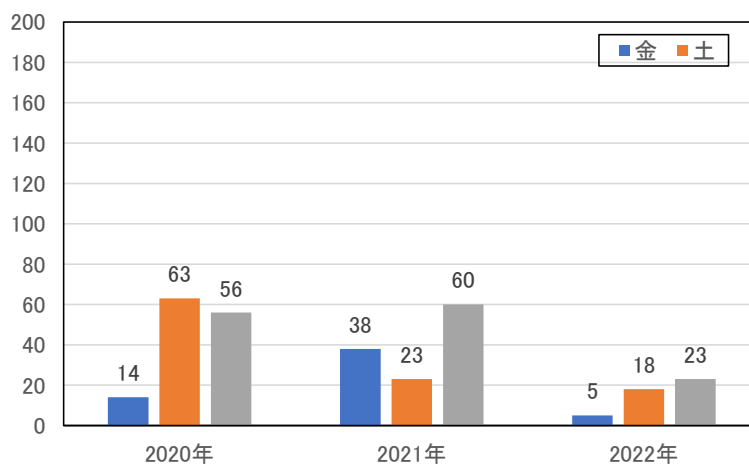


図4 日別駐車台数(道の駅裏・臨時駐車場)



3. 各施設の入込実績の年推移

- ・ 2019年を基準とし2020年～2022年のバスデイズの3日間における各施設、遊歩道等の入込の変化を図5に示した。同様に10月1カ月間の斜里町の観光入込についても2019年から3年間の変化を示している。（※知床五湖の地上遊歩道については、2019年のバスデイズと同期間は遊歩道閉鎖等の影響を受けて利用者数が少なかったため、閉鎖の影響のない平均的な3日間を抽出して基準とした。）
- ・ 斜里町全体の観光入込、規制区間外、規制区間内の利用者数全てについて、2019年から減少傾向である。
- ・ 規制区間内である知床五湖について、地上遊歩道の利用者数の減少幅は斜里町全体の減少幅や規制区間外のウトロ道の駅（～2021年）と類似した変動を示しているが、高架木道の利用は減少幅が大きい。

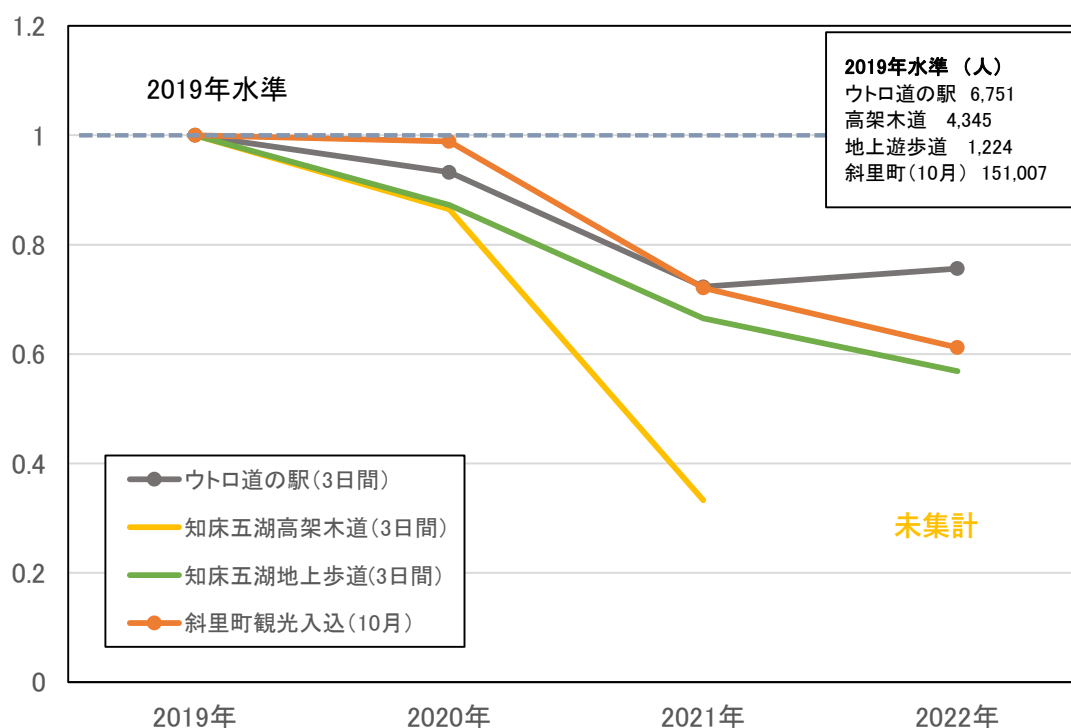


図5 各施設の入込実績の比較(2019～2022)

参考：知床オータムバスデイズの3年間の目標と2021年、2022年の実施状況まとめ

| 達成目標 (3年後のイメージ) |                     |   | 実施結果                                |  |
|-----------------|---------------------|---|-------------------------------------|--|
|                 |                     |   | 2021年度                              | 2022年度   |
| 1               | 岩尾別地区-町道での野生動物観光の確立 | 9月から10月の車両規制を伴うシャトルバス運行期間の延長                  | 10/1～10/3<br>3日間<br>前年と同期間実施        | 9/30～10/2<br>3日間<br>前年以前と同期間                                 |
|                 |                     | 岩尾別地区、岩尾別町道沿いでのヒグマ等野生動物観察の体制づくり               | ネイチャーガイドバス実施<br>午前午後各6便<br>ふ化場ツアー実施 | ネイチャーガイドバス実施<br>午前午後各6便 (往復)<br>ふ化場ツアー実施<br>レンジャートーク実施 (C系統) |
| 2               | カムイワッカの園地化とリブランディング | 湯の滝試行事業と連携やトレッキング利用、風景探勝の多様な利用の展開             | 湯の滝試行事業を秋のシャトルバス運行と連携実施             | 同左<br>総合的なカムイワッカ園地のあり方検討                                     |
|                 |                     | 平均滞在時間の延長を図り、これに耐えうるコンテンツの開発・試行               | 同上                                  |  |
| 3               | 知床五湖の渋滞発生ゼロ         | 車両規制の有無にかかわらず、代替輸送の強化と五湖以外への分散化を図る            | 検討                                  | 同左   |
|                 |                     | 8月に加え、5月連休、7月連休に対策を行い、渋滞発生日を軽減し、快適・スムーズな利用を実現 | 5月GW臨時路線バス運行<br>7月連休は案内実施           | 5月GW臨時路線バス運行<br>・5/1～5/5<br>7月連休臨時路線バス運行<br>・7/16～7/18       |
| 4               | 制度の最適化              | ウトロ～カムイワッカ間の一気通貫でのわかりやすい利用モデルの確立              | 検討                                  | 同左   |
|                 |                     | 運行方式 (新方式、従来方式) や規制区間、利用制度との統合化、一本化の推進        | 8月・10月異なる方式で実施                      | 5・7月、8月、10月を異なる方式で実施   |
|                 | 制度の最適化              | 登山者、ホテル等の利用を踏まえた岩尾別地区の最適化と利便確保                | 岩尾別線3便増便                            | 同左<br>(宿泊施設の送迎協力あり)  |
|                 |                     | 有償化の実施。スマートな決済サービスの導入                         | 8月有償運行<br>10月無償運行<br>※有償化に向けた検討実施   | 8月有償運行<br>10月有償運行 (A・B系統)                                    |
|                 |                     | 旅行業取得と商品化、システム開発、MaaS化に着手                     | 検討                                  | 有償化を踏まえたシステム開発検討   |
| 5               | 自立運営体制の確立           | 収支バランスの均衡                                     | 全体事業を調整し収支バランスを図る                   | 同左   |
|                 |                     | 事業主体としての運営事務局の確立                              | 検討                                  | 同左   |